

ご報告 ご本山 五重宝塔大法要 厳修



お同行様で大講堂は満員に



教区代表による献花

9月14日、ご本山に於きまして「五重宝塔大法要」が厳修されました。「世界の総菩提所」として五重宝塔の落慶(昭和41年)以来、毎年盛大に行われるご先祖供養の一座に、当山からも11名のお同行様が参列されました。暑い中のご参拝、誠にありがとうございました。

今年の五重宝塔大法要は、近年の記録的な暑さを考慮して研修会館大講堂を法要会場とし、五重宝塔へはご本山の塔頭全密院・八坂幢憲住職による代表参拝という形で執り行われました。

法要開始前、大講堂のステージ前の献花台には、参拝者が色とりどりの菊の花束をご先祖様に手向けて感謝の思いを伝えられていました。また法要では、身語正第六世應澄猊下大導師のもと、職衆をはじめお同行様の読経が堂内に響き渡り、職衆と参列者一同が一体となってご先祖様へ至心にご供養のまことを積み上げさせていただきました。そして、身語正の信心は「ご先祖代々菩提が醍醐なり」と宗祖上人が説かれたご法の悦びを分かち合いました。

当日のご参拝が叶わず、菊の花束のご供養をお申込みいただきましたお同行様におかれましては、心を込めてお供えさせていただきました。尚、当日は当山副住職の宮原実念師が鹿児島教区代表で献花の役をいただき、見事に務めていただいております。

御 礼 初代住職、二代目住職 回忌法要

○8月24日(日)10時20分から二代目住職の三回忌法要を厳修させていただきました。

○8月31日(日)10時20分から初代住職の十回忌法要並びに立像のお披露目をさせていただきました。

ご参拝の皆様から田島先生にとっても良く似ていると懐かしむ方や目に涙を浮かべる方とおられ、こちらも胸が熱くなりました。

二週連続の年忌法要となりましたが、ご参拝の皆様、誠にありがとうございました。



編集後記

10月になってもまだまだ暑い日が続いています。季節の変わり目で体調を崩しやすく、夏の疲れが現れる時期となります。今年インフルエンザが一月も早く流行しているそうです。お同行様におかれましては、無理をせず体調管理には万全を尽くしてお過ごしくださいませ。

10～12月の行事案内

◎10月17日(金)5時30分出発

御廟参拝

(有)馬渡石材産業

(千手観世音菩薩様見学)

宗祖上人御廟への年に一度の参拝日です。日頃のご恩に報い、御礼ご報謝のおまことでお参りさせていただきます。

◎12月7日(日)10時より

開山30周年記念法要

千手観世音菩薩様開眼法要

この日は、当山にとって意義のある大切な一日です。30年前の12月7日に初代住職の田島先生が「瑞光山興栄寺」の寺号を授かったありがたい日です。

また、当日は千手観世音菩薩様の開眼法要も厳修されます。是非ともこの御勝縁にお一人でも多くの皆様がお会いいただきますよう、切にお願い申し上げます。

蓮の花とメダカ(赤ちゃん誕生)



お滝場前の蓮の花が見事に咲いている今日この頃です。さて、蓮の花だけではなく、花鉢の中も覗いて下さい。

お同行様が大切に育てているメダカに赤ちゃんが生まれています。

花鉢の全てのメダカが可愛く見えるように、仏様から見たこの世界に生きる私達全員も可愛く見える「我が子」であるのでしょう。地球という大きな水槽の中で私達は仏様に見守られながら今日も生きています。仏様は常に大いなる慈悲の心をもって見守ってください。